

よくある質問(Q&A) DP-581H

Q1 印字中に緑色のランプが不規則に点滅します。

A プリンタへのデータ転送時とデータの印字時にランプが点滅するため、不規則な点滅になることがあります。

Q2 印字中に黄色のバッテリー充電ランプが点滅します。

A 2mm/s 以下の紙送り速度では、間欠的に充電します。充電完了後は点灯しなくなります。

Q3 印字中にバッテリーへの充電できますか？

A 2mm/s 以下の紙送り速度ではバッテリーへの充電は可能です。但し充電完了までの時間が長くなります。

Q4 バッテリーは1回充電すると、どのくらい印字できますか？

A 新品電池、室内、紙送り速度5mm/s、低印字率の条件で約150m 印字が可能です。記録紙約5本分印字に相当します。また電源投入放置にて約2日間程度は電源が保持します。他の紙送り速度での印字可能距離の目安としてください。

Q5 AC アダプタを抜き差しすると電源は自動で切り替わりますか？

A 本器はモバイルもしくは据え置き用として設計されています。自動で電源は切り替わりません。必ずプリンタの電源を落としてから電源を切り替えてください。印字中に電源を切り替えると、印字が停止し、計測器でもプリンタをオフの設定にします。停電時、停電から復帰時も同様な動作となります。必ず計測器のプリンタ設定を確認してください。

Q6 印字できませんと計測器側に表示が出ます。

A 計測器の画面で、紙切れやカバーオープンなどの警告が出た場合は、記録紙を補充する、またはカバーを閉めてください。バッテリー残量が25%未満になるとハードコピーに、10%未満になるとY-T 印字に制限が掛かります。印字開始時にバッテリー残量が15%未満の場合も、Y-T 印字に制限が掛かります。

Q7 印字中に印字された波形が急に薄くなりました。

A プリンタのサーマルヘッドを保護する為、強制エンベロープが発動すると波形の上下を残したような波形になります。高温下では方形波のように縦線を印字しない場合や薄っすらしか印字しない場合は印字率を下げるようにしてください。いずれもサーマルヘッドを保護する為で、故障ではありません。詳しくは製品付属セットアップガイドの強制エンベロープの項を確認してください。

Q8 記録紙の長さはどのくらいですか。

A 約30mです。残り1.5m程度でマーカが出ます。記録紙交換の目安としてください。

Q9 記録紙がなくなったら収録データはどうなりますか？

A 記録紙がなくなると印字は停止しますが、計測器のデータ収録は継続されます。

Q10 記録紙を交換後、印字できなくなりました。

A 収録印字中に記録紙を交換する場合など、収録データを保持するために計測器の設定でプリンタをオフにする場合があります。計測器の画面にプリンタをオフにします旨の表示が出たら、設定画面でプリンタをオンに再度設定してください。

Q11 記録紙は左右にずれますか？

A 記録紙をセットした場合、左右合計で約3mmのスペースがあります。蛇行幅は約3mmになります。

Q12 記録紙は静電気でプリンタに付着しませんか？

A 低温では記録紙がプリンタに付着する恐れがあります。付着しないように記録紙の排出量に応じて排出経路を確保してください。

Q13 記録紙は何年間使用できますか？

A 未開封で1年とさせていただきます。

Q14 記録紙は同様なものなら使用できますか？

A 他の記録紙を使用された場合は、サーマルヘッドなどを破損する恐れがあります。専用記録紙(PR-210X30)を使用してください。

Q15 ロギング印字を途中で停止できますか？

A 計測器の[QUIT]キーを押すと印字停止ができます。

Q16 プリンタを長期間保管する場合、または保管後に使用するときの注意点はありますか？

A 長期間保管する場合はバッテリーを50%程度に充電されることをお勧めします。空で保存すると、寿命が短くなります。更に高温下での保存は避けてください。紙送りローラーが変形する恐れがあります。長期保存後使用を再開する場合、バッテリーを充電後、数メートル程度の試運転印字することをお勧めします。

Q17 記録紙は記録後の保存年数はどのくらいでしょうか？

A 光の当たらない状態で保存環境が 20°C(温度)/65%(相対湿度) 前後であれば、約 5 年が目安となります。
 ※光の当たらない状態とは、ファイルや紙などに挟んで光の当たらない場所に保管している状態です。
 ※保存環境によって保存年数は大きく変化しますので、上記は参考値となります。